明日のくらし、ささえあう
CO·OP共済

2023年度

地域ささえあい助成

協働ひろめる助成　応募用紙

本助成制度では、人と人、組織と組織のつながりの中で、時にはささえ、時にはささえられながら誰もが安心してくらせる地域社会に向けて、生協と生協以外の団体が協働で取り組む活動を支援します。

地域において、社会課題や地域課題の解決のために地域の多様な団体と生協とのつながりを創り、広げ、協働の力でさまざまなテーマに取り組もうとされている皆様からのご応募をお待ちしています。

お問い合わせ先

03-6836-1324
平日10:00～16:00 土日祝日除く
contribution@coopkyosai.coop

新型コロナウイルス感染拡大を防ぐ観点から、職員の出勤を制限しております。
できるだけメールでのお問い合わせにご協力ください。

応募書類提出先

contribution@coopkyosai.coop

日本コープ共済生活協同組合連合会
組合員参加推進部
地域ささえあい助成事務局宛

＜　応募用紙とそれ以外に必要な書類（チェックリスト）＞

※ 様式1～5については、エクセルデータでご提出ください。

☑ **応募用紙　様式1．応募するにあたってご確認いただきたいこと（確認書）**

☑ **応募用紙　様式2．団体情報**

☑ **応募用紙　様式3．活動内容**

☑ **応募用紙　様式4．活動スケジュール**

☑ **応募用紙　様式5．活動予算**

☑ **見積書等、申請金額の根拠となるもの**

☑ **定款、規約、会則、またはこれらに準ずるもの**

☑ **前年度の事業報告書、または前年度の活動実績がわかるもの＊**

☑ **前年度の決算報告書、または前年度の会計実績がわかるもの＊**

※ご提出にあたり特にご留意いただきたい点

① メールでご提出ください。FAX、持参による提出は受け付けておりません。

② 応募用紙は、全て“A4版・片面刷り”で印刷することを想定した書式です。

③ 応募用紙以外の書類・パンフレットを提出される場合も“A4版・片面刷り”で作成してください。

④ 見積書等、申請金額の根拠となるものとは「見積書」・「料金表」・「カタログ」・「購入予定のWEBサイトの画面を印刷したもの」など、費用の妥当性・金額の根拠を示すものです。
購入対象が確定していない場合は用途と金額の根拠を提出してください。
具体的にイメージできる情報の提供がない場合は助成額が減額もしくは助成対象外となることがあります。
金額の根拠はURL貼付では受け付けられません。（当会のセキュリティの関係でアクセスできない場合があるため。）
画像データをエクセルに貼るなどしてご提出くださいますようご協力をお願いします。

＊ 立ち上げたばかりの団体で前年度の実績が無い場合は提出は不要です。

様式１

応募するにあたってご確認いただきたいこと（確認書）（協働ひろめる助成）

記入日	2022年10月15日
協働区分	協働ひろめる助成

以下の内容をよくご確認のうえ、「内容を確認しました」欄にチェック（☑）を付け、署名・押印しご提出ください。
「協働する団体」とは同等の関係性（受託・委託関係性なし）において、ともに活動をすすめる「生協」と「生協以外の団体」のことをいいます。
「協働する団体」は以下のすべての項目をご確認いただく必要があります。

- 本助成制度の趣旨に関する確認
- 提出書類に関する確認
- 当会支援金等の重複に関する確認
- 情報公開および個人情報に関する確認
- 応募不可団体に該当しないことの誓約
- その他助成金を受けるにあたっての確認

※記入上の注意点
すべての内容をご確認のうえ、チェック漏れがないようご注意ください。
また、本文書は各協働団体にて助成期間終了まで保管してください。

日本コープ共済生活協同組合連合会
代表理事理事長　和田　寿昭　殿

活動名称　安心の居場所づくりと社会参加のサポート活動

協働する団体

	住所	XX県XX市XX町1-2-2
第一（窓口団体）	団体名	■■■■■生活協同組合
	代表者氏名	□□　□□　押印省略
	住所	XX県XX市XX町2-14-1
第二	団体名	●●●●●
	代表者氏名	○○　○○　代表之印
	住所	XX県XX市XX町79-4
第三	団体名	XX市社会福祉協議会
	代表者氏名	◇◇　◇◇　代表之印

●本助成制度の趣旨に関する確認
上記「協働する団体」は、本助成制度の趣旨を理解し、協働を通じて地域への貢献を目指すことを約束します。
応募にあたり応募用紙（様式1～様式５）で確認した内容に相違ありません。「ＣＯ・ＯＰ共済　地域ささえあい助成2023年度応募要項」および「Q&A（よくあるご質問）」の内容を確認し、「応募用紙」を作成するにあたり「記入例」を参考とし「応募動画」を視聴しました。

提出書類の内容に虚偽があり、または本助成制度の趣旨に反したことにより、助成決定の取り消し等がおこなわれることとなっても異議の申し立てはせず、助成決定の取り消しならびに、助成金を返金することに同意します。

☑ **内容を確認しました**

●提出書類に関する確認
協働する団体は、提出書類について、所定期間中に提出することを確認します（助成が決定した場合、速やかに助成金を受け取れるよう入金先口座を準備しておきます）。なお、書類不備となるような書式変更はいたしません。
また、地域ささえあい助成事務局との窓口は第一団体が担うことに同意します。

☑ **内容を確認しました**

●当会支援金等の重複に関する確認
今回応募する活動は「CO･OP共済 健康づくり支援企画」や「広報宣伝費負担枠」などと重複または関連しないことを確認します。

☑ **内容を確認しました**

●情報公開および個人情報に関する確認
協働する団体は、下記１、２を確認し、同意します。

１．助成決定後、次の事項が日本コープ共済生活協同組合連合会のオフィシャルホームページで公開されること

「団体名」「助成された活動の名称および概要」「活動内容」「活動の様子がわかる写真」「活動成果」「その他団体から提出された情報」

２．本助成制度の運営にあたり日本コープ共済生活協同組合連合会が取得する個人情報については、助成先の選考および本助成制度の運営に必要な範囲で利用し、厳格に管理をおこなうこと
なお、日本コープ共済生活協同組合連合会の「個人情報保護方針」については、以下URLにて公開しておりますのでご参照ください。
https://coopkyosai.coop/privacy/

☑ **内容を確認しました**

● 応募不可団体に該当しないことの誓約

下記１～９の当会所定の応募不可団体のいずれにも該当しないことを確認し、将来においても該当しないことを誓約します。
万一、下記１～９のいずれかであることが判明した場合は、助成決定の取り消し等がおこなわれることとなっても異議の申し立てはせず、助成決定の取り消しならびに、助成金を返金することに同意します。

なお、参画団体（助成活動をともにする団体）については、協働する団体の責任において応募不可団体に該当しないことを確認し、将来においても応募不可団体に該当する団体と助成活動をともにしないことを誓約します。
万一、参画団体が下記１～９のいずれかであることが判明した場合にも、助成決定の取り消し等がおこなわれることとなっても異議の申し立てはせず、助成決定の取り消しならびに、助成金を返金することに同意します。

１．暴力団、暴力団員（暴力団員でなくなった日から５年を経過しない者を含みます。）、暴力団準構成員、暴力団関係企業その他の反社会的勢力（以下「反社会的勢力」といいます。）に該当すると認められること

２．反社会的勢力によって経営・運営を支配され、または暴力団員が経営・運営に実質的に関与していると認められること

３．反社会的勢力を不当に利用していると認められること

４．反社会的勢力に対して資金等を提供し、または便宜を供与するなどの関与をしていると認められること

５．役員または実質的に関与している者が、反社会的勢力と社会的に非難されるべき関係を有していると認められること

６．宗教の教義を広め、儀式行事をおこない、および信者を教化育成することを主たる目的とすると認められること

７．政治上の主義を推進し、支持し、またはこれに反対することを主たる目的とすると認められること

８．特定の公職（公職選挙法（昭和25年法律第100号）第3条に規定する公職をいう。以下この号において同じ。）の候補者（当該候補者になろうとする者を含む。）もしくは公職にある者または政党を推薦し、支持し、またはこれらに反対することを目的とすると認められること

９．前各号の他、以下いずれかの事実が認められること
（１）本確認書での確認事項を偽る事実
（２）本確認書ならびに応募要項に掲げる本助成制度の趣旨に反する事実
（３）公序良俗に反するおそれがある事実

☑ **内容を確認しました**

●その他助成金を受けるにあたっての確認

協働団体は、助成活動が適正に促進されるために、下記１～９について確認し、同意します

１．助成決定後に助成金を速やかに受け取るため、協働団体のいずれかを受取団体として決めておくこと

２．助成決定後に協働団体の役員名簿を所定の書式にて提出すること

３．応募要項記載の「助成の取消および助成金の返金について」を確認のうえ同意すること

４．助成決定後の活動をするにあたって「地域ささえあい助成」のロゴ・バナーを活用するよう努めること

５．助成決定後の活動における制作物には【ＣＯ・ＯＰ共済　地域ささえあい助成の協賛を受けています】と明記すること

６．助成決定後の活動をするにあたって、活動内容を積極的に情報発信すること

７．助成期間中に開催される「団体交流会」に参加すること

８．助成開始後、登録されるウェブページ（「社会貢献の取り組み　登録制ページ」）にログインして必要情報を取得すること

９．助成期間中に実施される「フレンドリーサポート」（本助成制度独自の双方向的なフォローアップ）に協力すること

☑ **内容を確認しました**

以上

様式２

団体情報（協働ひろめる助成）

活動名称（様式１より自動表示されています）

安心の居場所づくりと社会参加のサポート活動

第一団体

団体名	■■■■■生活協同組合				団体の種類	協同組合
住　所	999-9999	XX県XX市XX町1-2-2				
ホームページURL	http://www.XXXXX.jp					
団体概要/事業概要（150字程度）	××県域において、宅配事業・店舗事業・共済事業・福祉事業を柱に、組合員のくらしの向上および地域社会への貢献をめざしている。近年では特に子育て支援に力を入れ、「地域で子育て」を掲げて行政や様々な団体とも連携した取り組みを進めている。					
実務責任者	氏名 （ふりがな）・・・・ ・・・・ □□□ □□		実務担当者	氏名 （ふりがな）・・・・ ・・・・ □□□ □□□		ＴＥＬ 999-999-9999
担当部署／役職	XX部　部長		担当部署／役職	XX部　担当		
メールアドレス	XXXX@XXX.XX.jp		メールアドレス	XXXX@XXX.XX.jp		
運営スタッフ数	有給（名）	8	無給（名）	0	助成金受取団体は○をつけてください	－

第二団体

団体名	●●●●●				団体の種類	任意団体
住　所	999-9999	XX県XX市XX町2-14-1				
ホームページURL	http://www.XXXXX.jp					
団体概要/事業概要（150字程度）	不登校生のためのフリースクールの運営サポートおよび若者の居場所運営をおこなっている。ボランティアと子どもたちが様々なプログラムを実施し、年中行事も一体となっておこなう。あわせて、子育てに不安を持つ親を対象としたおしゃべり会を開催。ひきこもり経験者や回復期にあるひきこもりの人を、就労体験や就労支援機関に結び付ける活動にも力を入れている。					
実務責任者	氏名 （ふりがな）・・・・ ・・・・ ○○○ ○○		実務担当者	氏名 （ふりがな）・・・・ ・・・・ ○○○ ○○○		ＴＥＬ 999-999-9999
担当部署／役職	代表		担当部署／役職	コーディネーター		
メールアドレス	XXXX@XXX.XX.jp		メールアドレス	XXXX@XXX.XX.jp		
運営スタッフ数	有給（名）	12	無給（名）	0	助成金受取団体は○をつけてください	○

第三団体

団体名	XX市社会福祉協議会				団体の種類	社会福祉法人
住　所	999-9999	XX県XX市XX町79-4				
ホームページURL	http://www.XXXXX.jp					
団体概要/事業概要（150字程度）	地域住民や幅広い福祉関係者の参加により、福祉サービスの質の向上に向けた取り組み、様々な福祉課題への取り組みの推進、ボランティアグループやNPO法人による活動への支援等、幅広い活動をおこなっている。またそのための調査、広報、人材育成、計画作りなどに取り組んでいる。					
実務責任者	氏名 （ふりがな）・・・・ ・・・・ ◇◇◇ ◇◇		実務担当者	氏名 （ふりがな）・・・・ ・・・・ ◇◇◇ ◇◇◇		ＴＥＬ 999-999-9999
担当部署／役職	××部長		担当部署／役職	XX担当		
メールアドレス	XXXX@XXX.XX.jp		メールアドレス	XXXX@XXX.XX.jp		
運営スタッフ数	有給（名）	3	無給（名）	0	助成金受取団体は○をつけてください	－

その他　参画団体

No.	名　称
1	XX市　福祉部　地域福祉課
2	▲▲大学　社会福祉学部　XX研究室
3	株式会社◆◆◆◆
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	

様式３

活動内容（協働ひろめる助成）

活動名称（様式１より自動表示されています）

安心の居場所づくりと社会参加のサポート活動

具体的な活動内容（活動の対象者、活動規模を含んで明記）（200～400文字程度）

XX市を中心とするエリアのひきこもり支援をおこなう。●●●●●がフリースクールの運営サポートや若者の居場所の運営、および、ひきこもり当事者の家族に対するサポートをおこない、就労を望む当事者に対しては、■■■■■生協が店舗での就労機会を提供することで自立支援をおこなう。また、高齢のひきこもり当事者を支援するために、XX市社会福祉協議会と協働してひきこもりサポーターの養成をおこない、訪問活動や居場所の運営につなげる。2021年度の活動がXX市の広報誌で取り上げられ、地元の大学や企業による協力が広がっている。

団体名称（様式２より自動表示されています）

第一団体

■■■■■生活協同組合

■着目した「地域の課題・ニーズ」（200文字程度）

近年、「8050問題」がクローズアップされるなど、ひきこもりは社会的な問題となっている。生協の職員や組合員の家庭の中にも当事者がいるという話を聞く。当事者やその家族は孤立しがちであり、地域とのつながりの中で問題を解決する必要がある。

■「協働のきっかけ・経過」（200文字程度）

コミュニティ連絡会で●●●●●の活動について話を聴いたことをきっかけに、若者の居場所づくりの活動に会場の提供や店舗でのお知らせ、当日の運営スタッフなどで協力するようになった。また、組合員を対象としたひきこもり支援に関する学習会を協働で企画・開催してきた。これらをすすめるなかで、生協店舗で就労の機会を提供することができないかと考えるようになり、役員や人事部門とも相談しながら組織間で具体的な進め方を検討してきた。

■「活動で果たす役割」（具体的にお書きください）（200文字程度）

ひきつづき、ひきこもり当事者を対象としたイベントの運営に事務局として関わる。また、生協職員および組合員を対象とした学習の場を設け、ひきこもりに対する理解を深める。新たに、生協店舗において、ひきこもり当事者のペースにあわせた就労機会を提供し、自立に向けた支援をする。

第二団体

●●●●●

■着目した「地域の課題・ニーズ」（200文字程度）

XX県は全国平均を超えるひきこもりの当事者が確認されている。また、閉鎖的な風土もひきこもりの長期化を助長させる一因となっている。そのような状況であるが、ひきこもりの当事者や家族を包括的に支援する機関が十分ではない。

116

■「協働のきっかけ・経過」（200文字程度）

コミュニティ連絡会に参加する中で、社会福祉協議会やNPO等とのつながりができている。連絡会で当団体の活動を紹介する機会があり、ひきこもり当事者の就労支援への協力企業を求めていると話したところ、■■■■■生協から協力の申し出をいただいた。生協とは理念などに共通する部分が多く、すぐに協働に向けた準備を始めた。また、社会福祉協議会とは包括的な支援の必要性について認識を共有し、当面は地域における理解・関心を高めることに注力することとした。

206

■「活動で果たす役割」（具体的にお書きください）（200文字程度）

フリースクールの運営サポートや若者の居場所の運営、親を対象としたおしゃべり会の開催を通じて不登校・ひきこもりの子どもや家族を支援する。また、社会福祉協議会と協力してひきこもりサポーターの養成をおこなう。ひきこもり当事者の回復状態を見ながら、■■■■■生協をはじめとする協力企業の支援を受けた就労の後押しをおこなう。

132

第三団体

XX市社会福祉協議会

■着目した「地域の課題・ニーズ」（200文字程度）

XX県は全国平均を超えるひきこもりの当事者が確認されている。また、閉鎖的な風土もひきこもりの長期化を助長させる一因となっている。そのような状況であるが、ひきこもりの当事者や家族を包括的に支援する機関が十分ではない。

■「協働のきっかけ・経過」（200文字程度）

ひきこもり当事者の増加・高齢化を受け、より着実な支援をおこなうためには、サポーターの養成およびスキルアップが急務であると考え、プログラムの開発に着手した。直接的にひきこもり支援をおこなっている団体の協力が不可欠と考え、●●●●●にお声がけした。

■「活動で果たす役割」（具体的にお書きください）（200文字程度）

●●●●●と協働してひきこもりサポーター養成講座を定期的におこない、講座を受講したサポーターが中心となって運営する居場所について、広報や場所の提供等の支援をおこなう。

第四団体

■着目した「地域の課題・ニーズ」（200文字程度）

107

■「協働のきっかけ・経過」（200文字程度）

122

■「活動で果たす役割」（具体的にお書きください）（200文字程度）

83

過去の協働の実績（200～400文字程度）

※ 本項目は、助成審査時、協働の状況が「協働ひろめる助成」の基準を満たしているかどうかを審査する際に参照します。

※ 上記の団体が過去に協働して取り組んだ活動について、いつからいつまで、どのような活動に、それぞれがどのような役割を果たして取り組んだかお書きください。

【■■■■■生協と●●●●●の協働】2018年10月～2020年1月にかけ、計9回、●●●●●が主催する若者の居場所に■■■■■生協が会場提供・開催周知・当日運営で協働。また、計3回の生協組合員向けひきこもり支援学習会を共催。2020年度～2022年度上期は、コロナの影響を受けながらも、居場所の活動を計10回実施し、学習会を計5回実施した。
【●●●●●とXX市社協の協働】2019年度下期からサポーター養成のプログラムの開発を協働ですすめてきた。コロナの影響で養成講座の開始は2021年度からとなり、2カ月に1回程度の定期的な開催は2022年度からとなった。

２～3年後の発展した活動および協働のイメージ（200～400文字）

※ 本項目は、助成審査時、活動および協働の将来にわたる持続性・発展性等を審査する際に参照します。

※ **本項目は、助成決定後、助成金活用団体内に公開予定です。**公開の理由は「未来の姿」に「共感」が生まれたり、団体がお互いに描いていることを確認し、より大きな「協働」につながることを願っているためです。

■■■■■生協と他市とのつながりや、各市の社協どうしのつながりを活かしながら、ひきこもり支援の対象エリアをXX市の近隣の市へ拡大していく。また、賛同・協力いただいている▲▲大学との協働関係を深め、ひきこもりサポーター養成のプログラム開発等にも関わっていただく予定であり、現在、●●●●●が中心となって大学との協議をすすめている。1人でも多くのひきこもり当事者が自立できるよう、他団体・他企業との多様なかたちでの協働関係を広げていこうと、情報発信にも力を入れていく。

２～３年後の収支計画（200～400文字）　※「収入」「支出」に分けてお書きください。

※ 本項目は、助成審査時、活動および協働の将来にわたる持続性・自立性等を審査する際に参照します。

「収入」記入例：助成終了後は、助成金で整備できた施設の利用料や参加費を設定することを予定しています。活動賛同者から寄付を募ることも検討します。

「支出」記入例：助成終了後は、設備整備費用の支出は一定終了する予定です。

【収入】ひきつづき行政からのひきこもり支援に関する助成金を活用しながらも、より多くの方に活動を知っていただき賛同いただくことで、企業や個人の方からの寄付金の比率を高めていく（2021年度の寄付金は前年度比で企業が150%、個人が200%）。また、活動の規模に応じた自己資金の拡大をめざし、参加費を設定したイベントの開催（具体的にはXXXXXXXX、XXXXXXXX等）を計画しており、賛同する団体・企業との協議をすすめている。
【支出】活動の規模の拡大に応じて増加する部分はあるものの、おおむね現状の延長上で推移する見通しであり、いまのところ大きな支出は予定していない。

様式４

活動スケジュール（協働ひろめる助成）

活動名称（様式１より自動表示されています）

安心の居場所づくりと社会参加のサポート活動

具体的な活動内容（様式３より自動表示されています）

XX市を中心とするエリアのひきこもり支援をおこなう。●●●●●がフリースクールの運営サポートや若者の居場所の運営、および、ひきこもり当事者の家族に対するサポートをおこない、就労を望む当事者に対しては、■■■■■生協が店舗での就労機会を提供することで自立支援をおこなう。また、高齢のひきこもり当事者を支援するために、XX市社会福祉協議会と協働してひきこもりサポーターの養成をおこない、訪問活動や居場所の運営につなげる。2021年度の活動がXX市の広報誌で取り上げられ、地元の大学や企業による協力が広がっている。

年間スケジュール

期　間	めざす成果 （定量・定性） 例：参加人数	実　施　内　容
第1四半期（2023年4月～6月）		
4月	参加人数XX名	春のカフェとフリーマーケット、便利屋相談受付窓口設立、親の会・サポーターの会総会、 就労支援会議、おしゃべり会を開催
5月	参加人数XX名	居場所開催×3回、サポーター研修①、親の会を開催
6月	参加人数XX名	居場所開催×3回、親の会、おしゃべり会を開催
第2四半期（2023年7月～9月）		
7月	参加人数XX名	居場所開催×3回、親の会、夏カフェとフリーマーケット、便利屋相談受付、就労支援会議、 サポーター研修②を開催
8月	参加人数XX名	居場所開催×3回、親の会、フリーマーケット、おしゃべり会を開催
9月	参加人数XX名	居場所開催×3回、親の会、サポーター研修③を開催
第3四半期（2023年10月～12月）		
10月	参加人数XX名	居場所開催×3回、親の会、就労支援会議、秋カフェとフリーマーケット・便利屋相談受付、 おしゃべり会
11月	参加人数XX名	居場所開催×3回、親の会、サポーター研修④を開催
12月	参加人数XX名	クリスマス会、親の会、おしゃべり会を開催
第4四半期（2024年1月～3月）		
1月	参加人数XX名	居場所開催×3回、親の会、就労支援会議、サポーター研修⑤を開催
2月	参加人数XX名	居場所開催×3回、親の会、おしゃべり会を開催
3月	参加人数XX名	居場所開催×3回、親の会、サポーター研修⑥を開催

様式５

活動予算（協働ひろめる助成）

活動名称（様式１より自動表示されています）

安心の居場所づくりと社会参加のサポート活動

具体的な活動内容（様式３より自動表示されています）

XX市を中心とするエリアのひきこもり支援をおこなう。●●●●●がフリースクールの運営サポートや若者の居場所の運営、および、ひきこもり当事者の家族に対するサポートをおこない、就労を望む当事者に対しては、■■■■■生協が店舗での就労機会を提供することで自立支援をおこなう。また、高齢のひきこもり当事者を支援するために、XX市社会福祉協議会と協働してひきこもりサポーターの養成をおこない、訪問活動や居場所の運営につなげる。2021年度の活動がXX市の広報誌で取り上げられ、地元の大学や企業による協力が広がっている。

経費明細

※ 本助成制度では、「食料費」の助成にあたり、対象となる活動と申請できる金額に一定のルールを設けています。「食料費」の助成を申請する場合には、右表の該当する活動の「非該当」を「該当」に変更してください。対象となる活動への「食料費」の助成額は「本助成応募額」の50%までです。

「食料費」助成対象判定		
	フードバンク・フードパントリーに類する活動	非該当
	子ども食堂等	該当
	高齢者等の見守り活動等	非該当

No.	費目	見積書番号	摘要（内容、算出根拠） ＊単価×個数など、具体的に記載ください。	金額（税込）	対象となる例	対象とならない例
1	食料費	①	だれでも食堂型の居場所で提供する食料（生協提供分を除く） @200円×20名×10回分	40,000	・「フードバンク・フードパントリーに類する活動」「子ども食堂等」「高齢者等の見守り活動等」 ・「本助成応募額」の50%まで ※下の「特記事項」欄に記入必須。	・「本助成応募額」の50%超過分
2	報償費（謝礼金）	②	講師謝金（サポーター研修） @50,000円×3回分、@20,000円×3回分 ボランティア謝礼（居場所） @2,000円×2名×30回分	330,000	・講習会専門家講師謝礼 ・翻訳料、通訳料 ・ボランティア等謝礼など	・協働団体に所属する講師への謝礼
3	人件費				・「協働ひろめる助成」の場合 ・「本助成応募額」の30%以下	・「協働はじめる助成」の場合
4	委託料				・専門的知識や技術を要する業務の外部委託料（舞台設営・音響機器操作委託経費・Web制作委託など）	・協働団体への支払い
5	旅費・交通費	③	交通費（スタッフ12名分）自宅⇔会場 居場所30回、親の会12回、おしゃべり会6回、ｻﾎﾟｰﾀｰ研修6回、就労支援会議：4回、フリーマーケット：4回を開催予定 ※前年度交通費実績を参照（別紙）	300,000		
6	消耗品費	④	封筒代（居場所開催チラシ送付用） @598円×20パック（1パック50枚入）＝11,960円 油性マーカー代（居場所開催で使用） @150円×15本＝2,250円	14,210		・「何を」「何個」購入の詳細が不明
7	備品購入費				・備品購入費 ※単品で20万円超、かつ賃借可能な場合、賃借優先。購入する場合、下の「特記事項」欄に記入必須。	・不動産・車輌購入費
8	広報費／印刷費	⑤	印刷費（居場所開催チラシ） @20円×2,000枚＝40,000円	40,000		・見積書・料金表の添付のないもの
9	通信運搬費	⑥	切手代（居場所開催チラシ送付） @84円×500通＝42,000円	42,000		
10	使用料／賃借料	⑦	居場所貸室料（生協提供分除く） @3,000円×20回分＝60,000円	60,000	・スクリーン、プロジェクター、音響装置等 ・会場、会議室使用料	・協働団体が所有している施設等の使用料や借上料
11	材料費				・工作教室で使う木材・画材	
12	修繕費				※下の「特記事項」欄に記入必須。	
13	その他					
本助成応募額　合計				**826,210 円**		

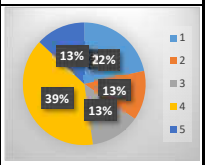
特記事項

※ 以下に該当する場合、「応募要項」の「経費ガイドライン」をお読みいただいた上で、その費目の助成を申請される理由をお書きください。
食料費……食料の提供を通じて大切にしていること・工夫していることをお書きください（応募要項「経費ガイドライン」の「■食料費の考え方」を参照）。
備品購入費……購入する物品が20万円を超える場合には、その物品の必要性と賃借ができない理由をお書きください。
修繕費……活動の実施に不可欠な修繕・改修であることをご説明ください。

年30回（概ね月3回）開催予定の「若者の居場所」のうち、年10回（概ね月1回）は「だれでも食堂」（だれでも参加できる子ども食堂のような場）のかたちを取りながら、そのなかでひきこもり当事者とその家族をサポートするセッション（具体的にはXXXXXXXX、XXXXXXXX等）をおこなう。ひきこもり当事者や孤立しがちな状況にある若者に、（家族以外の）だれかと食事をすることの機会を定期的に提供したい、できればそのことの楽しさを伝えたいという想いから、このかたちを計画している。そこで必要となる食料費のうち、生協提供分を除いた分（具体的にはXXXXXXXX、XXXXXXXXの購入費用）の助成を申請する。

助成を受ける年度の活動全体の収入見込について（単位：円）

※ 協働団体からの資金提供等、区分に項目がない場合は「その他」欄に金額を記入し内訳を「備考」欄にお書きください。

区分	内容	金額（円）	割合	収入に占める各区分の割合
1．本助成金（見込）	経費明細参照	¥826,210	22%	
2．自己資金	ﾌﾘｰｽｸｰﾙの運営ｻﾎﾟｰﾄから200,000円、講演等で300,000円	¥500,000	13%	
3．寄付金（申請中も含む）	企業300,000円、個人200,000円	¥500,000	13%	
4．他の助成金（申請中も含む）	行政からの助成金1,000,000円、民間助成金500,000円	¥1,500,000	39%	
5．その他	備考参照	¥500,000	13%	
	収入合計	¥3,826,210	100%	

備考

上記は●●●●●（助成金受取団体）の活動全体の収入見込。「５．その他」は■■■■■生協からの資金提供分。